2020年8月２６日

移動等円滑化評価会議・地域分科会での取り組み提案VOL.2

DPI日本会議 佐藤　聡

1. 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた施設整備において実施されたユニバーサルデザインワークショップ（UD/WS)の取り組みを再点検し、移動等円滑化基準・ガイドラインへ反映する
2. 狙い

　東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、国や東京都では、UD/WSを実施し、多様な障害当事者の声を施設整備に反映させた。新国立競技場や成田空港ではUD/WSが実施され、東京都はアクセシビリティ・ワークショップを開き、有明アリーナ、オリンピック・アクアティクスセンター、海の森水上競技場、有明テニスの森、大井ホッケー競技場、カヌー・スラローム会場、アーチェリー会場等に取り組んだ。これらは、いずれも多様な障害者を構成員として最初の段階から意見反映に取り組んでおり、さらに国際的なバリアフリー整備基準であるIPCアクセシビリティ・ガイドを踏まえたTOKYO2020アクセシビリティ・ガイドラインに基づいて整備されている。我が国で初となる国際水準を満たしたバリアフリー整備を実現した施設である。

この素晴らしい取り組みで得た知見を大会だけで終わらせるのではなく、全国へ、未来へつないでいくためには移動等円滑化基準・ガイドラインに反映させることが必要である。

1. 対象施設
* 国レベルでは、新国立競技場、成田空港、東京都アクセシビリティ・ワークショップで取り組んだ競技施設。
* 地域レベルでは、地域の特性を踏まえた取り組み（雪、島等）、特徴的な取り組み等
1. 取り組み

それぞれの施設整備について、下記の視点で再点検（視察・報告書）する。

UD/WSの構成、進め方

* 工夫したこと、整備したこと
* 当初の計画と変わったところ
* 成果
* 完成後のチェックで、こうしたほうが良かったと思ったこと
1. 進め方

対象施設の報告書を確認し、先進的・特徴的な整備箇所をピックアップする。

いくつかの施設を選び、実際の仕様・使い勝手を確認する。

移動等円滑化基準・ガイドラインへの反映が必要と思われるものをまとめる。

1. 基準等検討委員会への提案
* （４）でまとめた移動等円滑化基準・ガイドラインへの反映が必要なことを、基準等検討委員会に提案する。